

## 目次

10.2 CentOS のインストール初期設定.....	2
10.2.1 メディアからの起動.....	2
10.2.2 言語の選択.....	5
10.2.3 キーボードの選択.....	6
10.3 インストール詳細設定.....	7
10.3.1 ディスクパーティションの設定.....	7
10.3.2 ネットワークの設定.....	8
10.3.3 タイムゾーンの設定.....	10
10.3.4 root パスワードの設定.....	11
10.3.5 パッケージの選定.....	12
10.3.6 インストール開始.....	15
10.4 インストール後設定.....	17
10.4.1 ファイアウォールの設定.....	18

## 10.2 CentOS のインストール初期設定

CentOS のインストール・キット(CD や DVD などのメディア)には幾つかの種類があります。LiveCD は CD 単体で起動できるお試し用、CD は 6 枚組で、DVD なら 1 枚に収められています、最後に netinstall 用 CD があり、これはインストール途中にネットワーク経由で続きをダウンロードする仕組みになっています。

ここでは DVD を使ったインストール例を掲載していますが、キットの種類や OS のバージョンによって微妙に異なる場合があります。

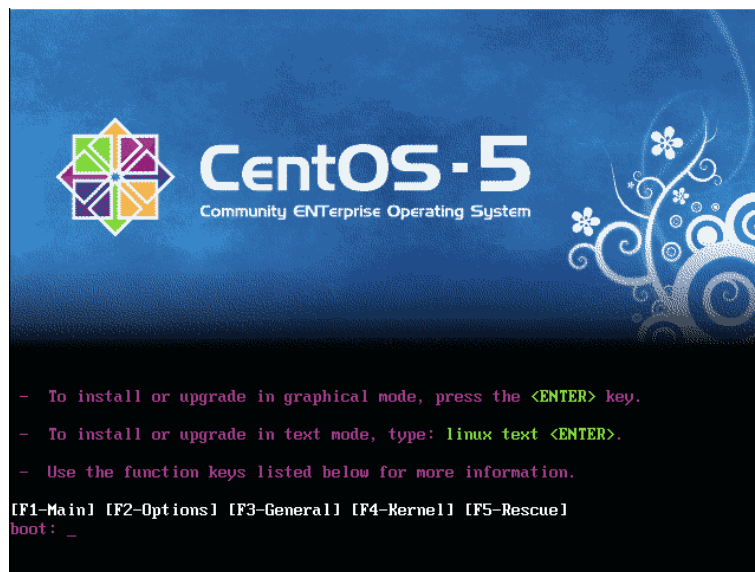
またインターネット上にも ISO 形式とよばれる CD や DVD のデータが公開されていて、それをダウンロードし CD や DVD に焼いて利用することもできます。

代表的な Linux キットの公開サイト

- CentOS オフィシャルサイト (<http://www.centos.org/>)
- 理化学研究所(<ftp://ftp.riken.go.jp/Linux/centos>)
- KDDI 研究所(<http://ftp.kddilabs.jp/Linux/packages/CentOS/>)
- 北陸先端科学技術大学院大学(<http://ftp.jaist.ac.jp/pub/Linux/CentOS/>)

### 10.2.1 メディアからの起動

PC の BIOS 設定を変更し、CD/DVD など用意したインストール・キットから起動できるようにしておきます。その状態で PC を起動すると、インストーラーが立ち上がり以下のような画面が表示されます。



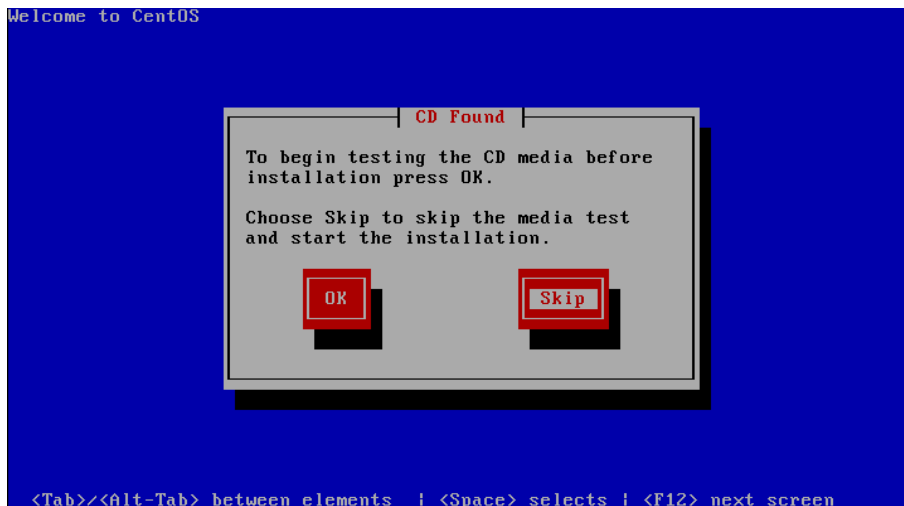
[ F1 ] ~ [ F5 ] キーで、それぞれ意味がありますが、今回は linux text [ Enter ] と入力します。

画面が切り替わり、ハードウェアの動作確認や初期設定の状況が表示されます。

```
md: md driver 0.90.3 MAX_MD_DEVS=256, MD_SB_DISKS=27
md: bitmap version 4.39
TCP bic registered
Initializing IPsec netlink socket
NET: Registered protocol family 1
NET: Registered protocol family 17
Using IPI No-Shortcut mode
ACPI: (supports S0 S1 S4 S5)
Freeing unused kernel memory: 228k freed
Write protecting the kernel read-only data: 393k
Time: tsc clocksource has been installed.

Greetings.
anaconda installer init version 11.1.2.113 starting
mounting /proc filesystem... done
creating /dev filesystem... done
mounting /dev/pts (unix98 pts) filesystem... done
mounting /sys filesystem... done
input: AT Translated Set 2 keyboard as /class/input/input0
input: ImPS/2 Generic Wheel Mouse as /class/input/input1
trying to remount root filesystem read write... done
mounting /tmp as ramfs... done
running install...
running /sbin/loader
```

暫くすると、メニューが表示されます。これは現在の CD/DVD にエラーがないかチェックする作業を実行するかどうかを確認しています。[TAB]で選択し、[Enter]で次画面に進みます。特に問題がなければ Skip を選択し次に進みます。



操作方法)

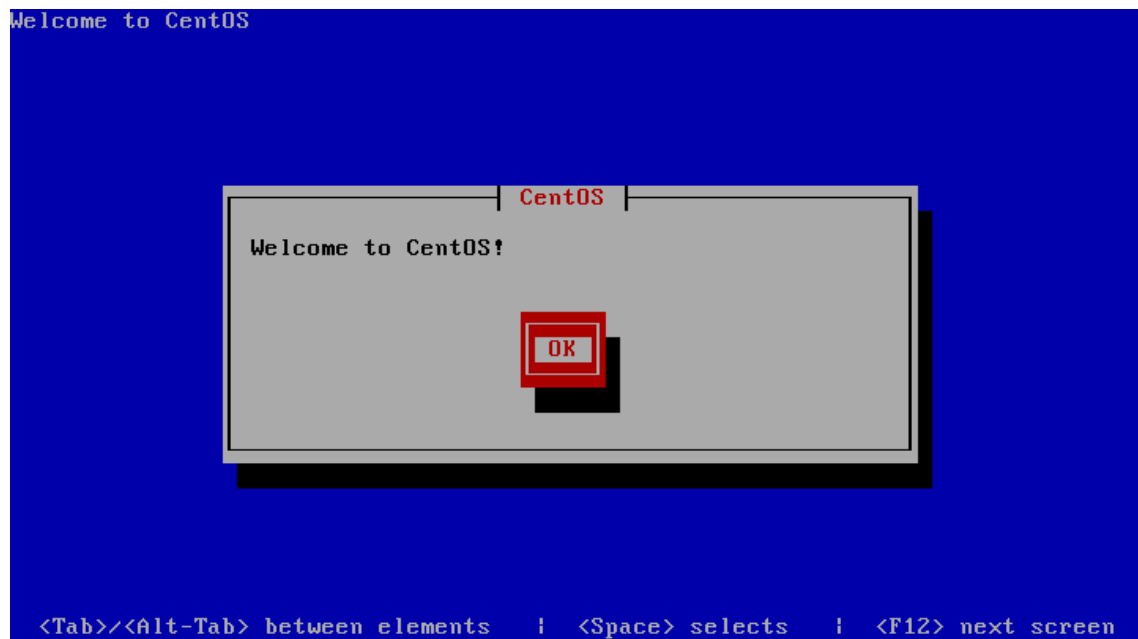
[TAB] または [ ↑ ] [ ↓ ] [ ← ] [ → ] を使って、操作対象 (フォーカス) を移動します。操作対象となっている項目は背景が赤く表示され、確定するには [Enter] を押します。

[ ] / [\*] と表示されている箇所はオプション選択で、[\*] が表示されている項目が選択されています。[ ] 内でスペースを打つと、[\*] が表示 (選択) されたり、[ ] 消えてたり (非選択) します。

() / (\*) は多者択一で、空白の項目() の上でスペースを打つと、それが選択され、他は非選択になります。

## CentOS 5.5 - Xen のインストール (テキスト版)

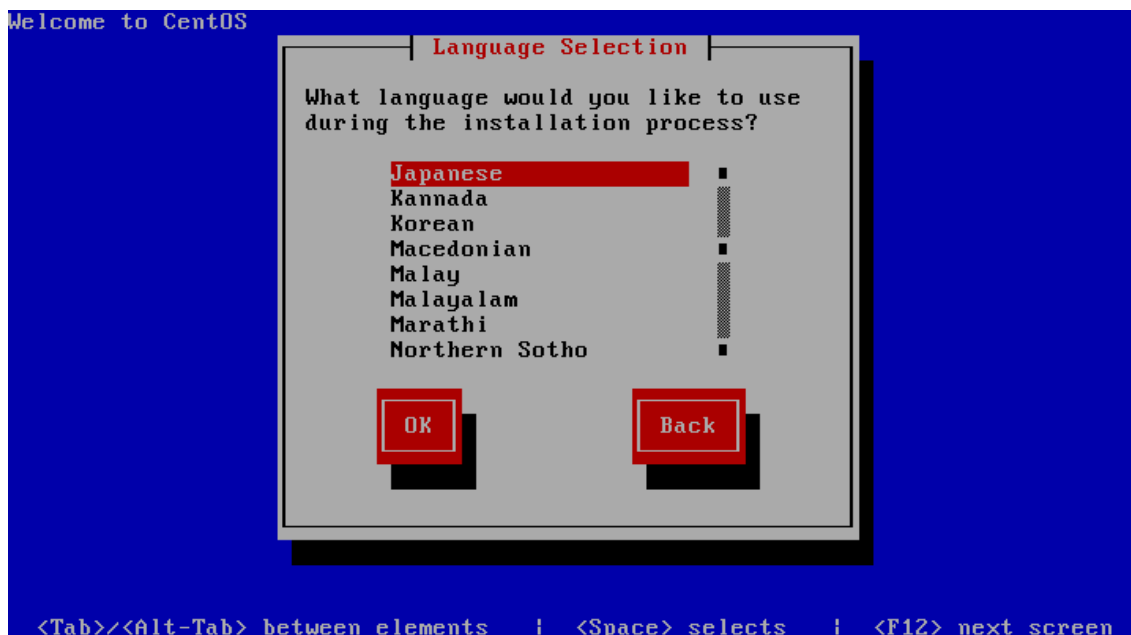
再び DVD が動作し、下の画面が起動します。



[OK] フォーカスが合っている (文字が反転) していることを確認し、[Enter]を押します。

## 10.2.2 言語の選択

インストール時の説明文に用いる言語を選択します。自分が得意な言語を選択してください。この例では Japanese(日本語)を選択しています。



残念ながら現在のバージョン(CentOS 5.5) のテキストモードでは、日本語がサポートされておらず、日本語を選択しても表示は英語のままです。



### 10.2.3 キーボードの選択

インストールしている PC のキーボードを選択します。誤ると特殊文字の割り当てが変わってしまいますので「インストールしたい」キーボードではなく、PC に接続されているキーボードを選択してください。



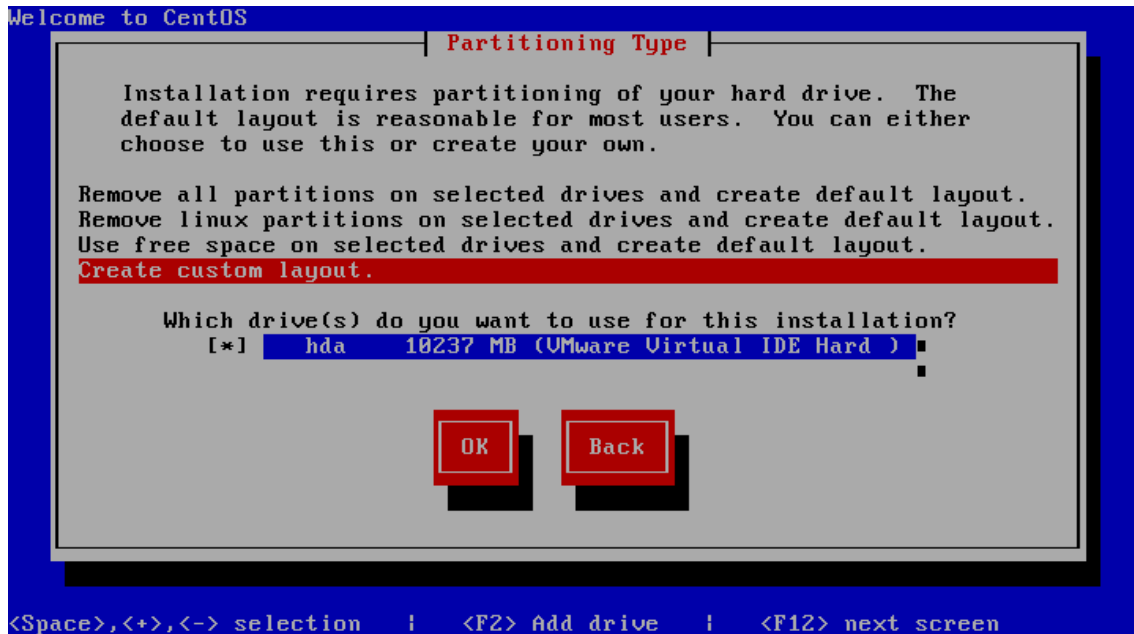
[TAB] で移動し、[OK]にフォーカスを移動し [Enter] で次に進みます。

## 10.3 インストール詳細設定

|System to Upgrade| が表示された場合は、「Reinstall System」を選択し、[OK]を押します。

### 10.3.1 ディスクパーティションの設定

パーティションを再作成するため、「Remove all partions ~」を選択します。



さらにインストール先のハードディスクに \* が表示されていることを確認した上で、[OK]を選択し、[Enter]を押します。

パーティションを変更すると、ディスクの内容は全て消去されます。確認画面が表示されますので、[OK]を選択します

さらに|Review Partition Layout|については、特に内容を見る必要がないかぎり、[No]を選択します。

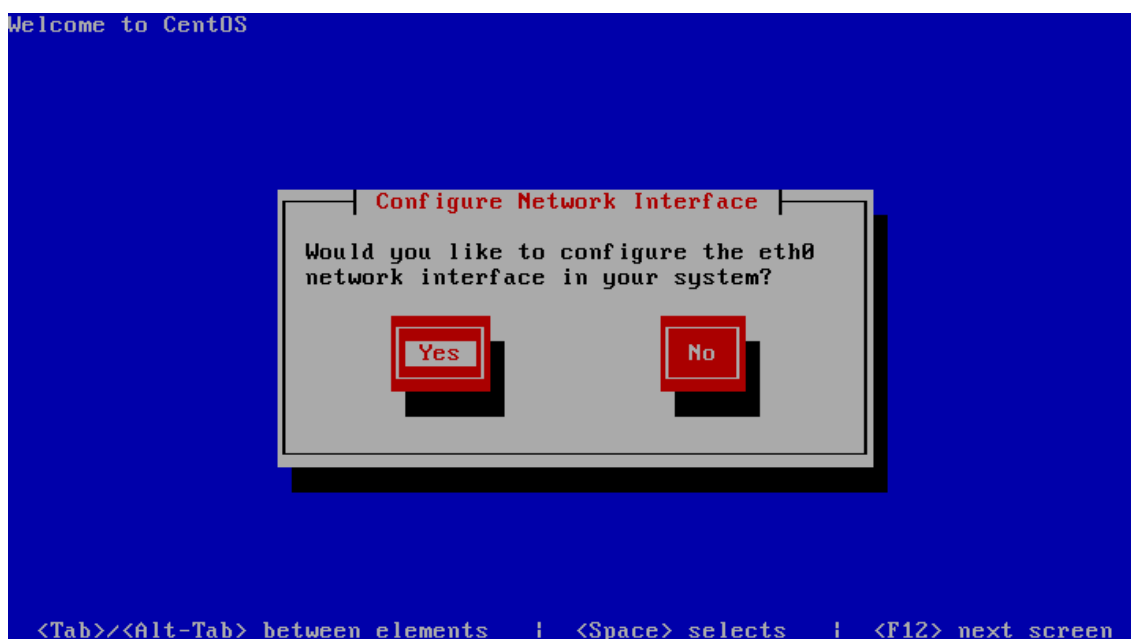
補足)

hda 云々が接続されているハードディスクを表しています。複数のハードディスクが PC に接続されている場合は、hdb, dhc というようにハードディスクの一覧は複数行にわたり表示されます。

SATA 対応の場合は、hda ではなく sda と表示されます。

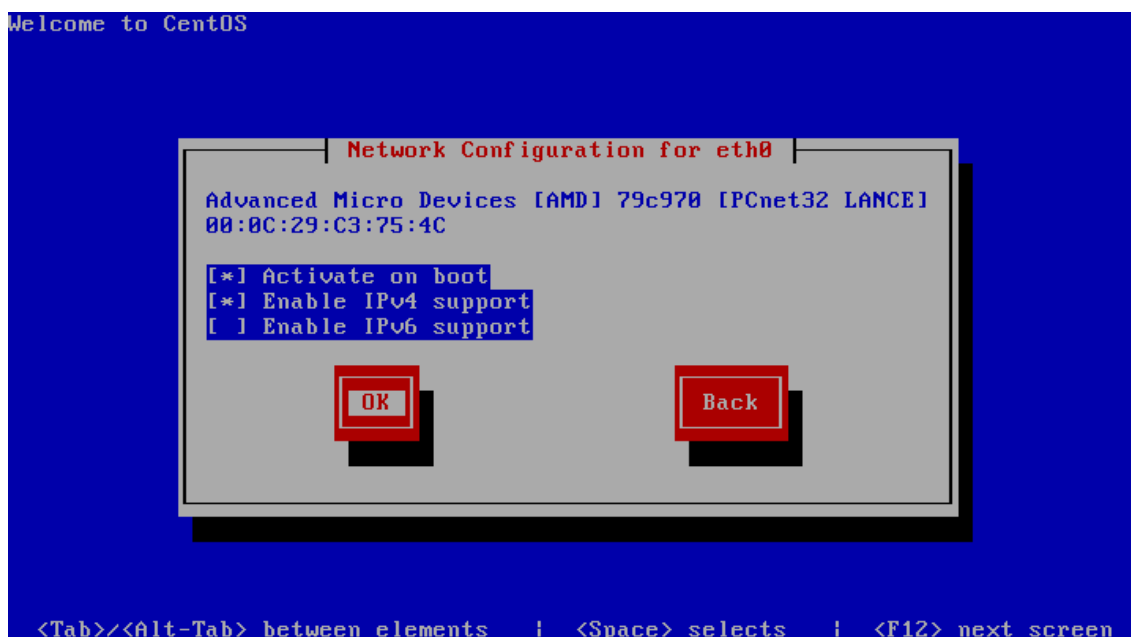
### 10.3.2 ネットワークの設定

ネットワーク設定をするかどうか、確認画面が表示されますので [Yes] を押します。



#### NIC の詳細設定

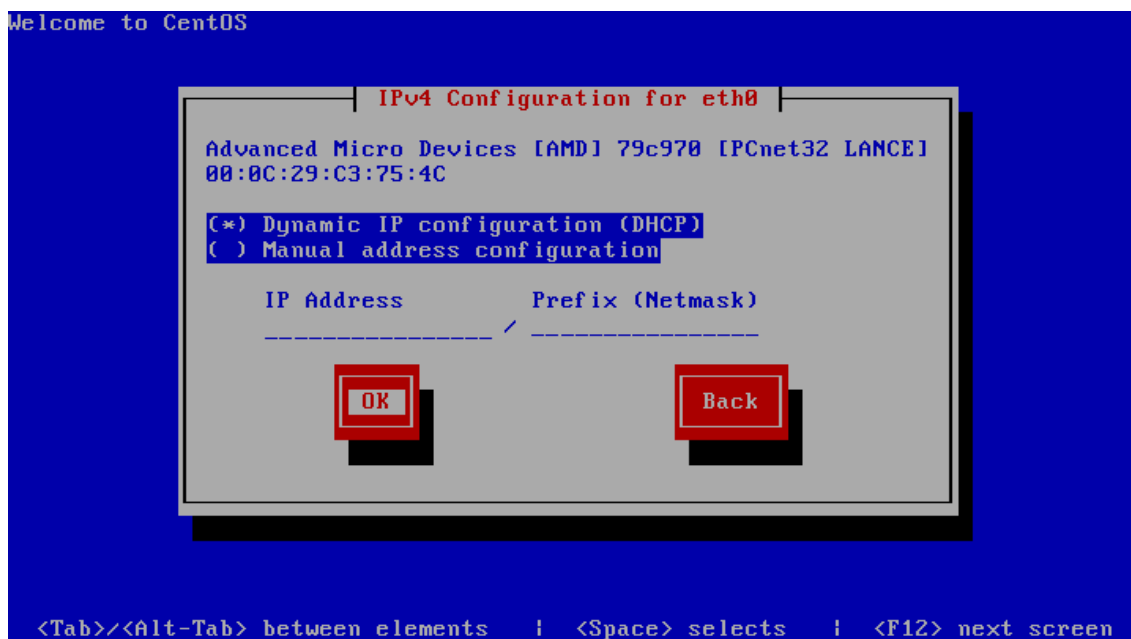
[\*] Active on boot、[\*] Enable IPv4 support、 Enable IPv6 support とし、[OK]を押します。(  Enable IPv6 support のチェックは外しておきます。)



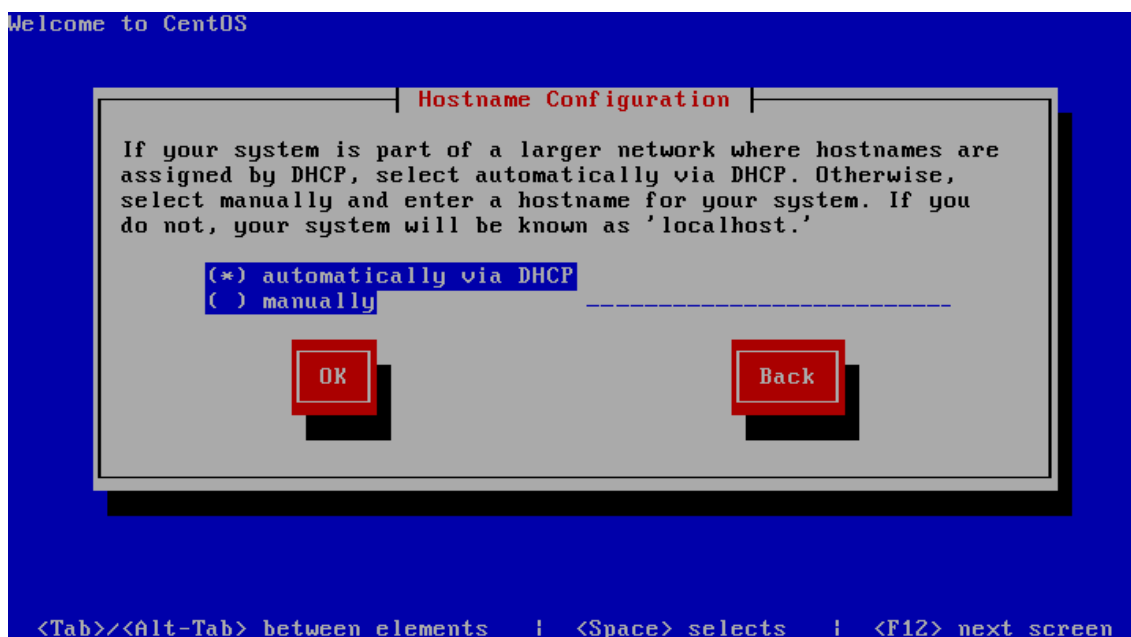


引き続きネットワーク設定となります、すべて省略値でかまいません。

(\*) Dynamic IP configuration (DHCP)



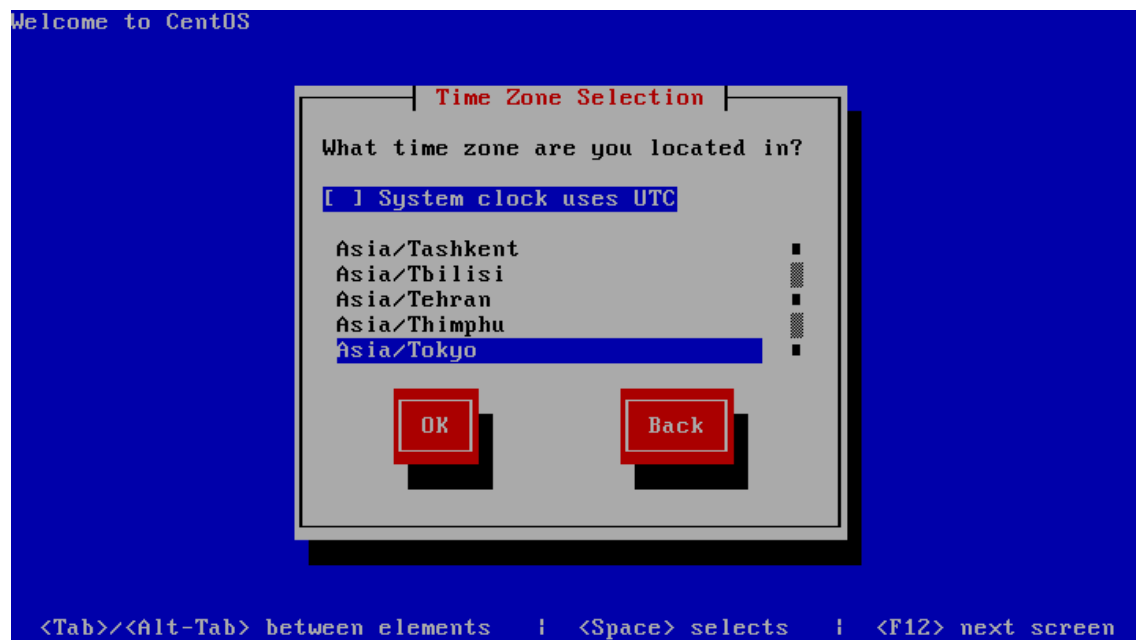
(\*) automatically via DHCP はチェックしたままとします。



### 10.3.3 タイムゾーンの設定

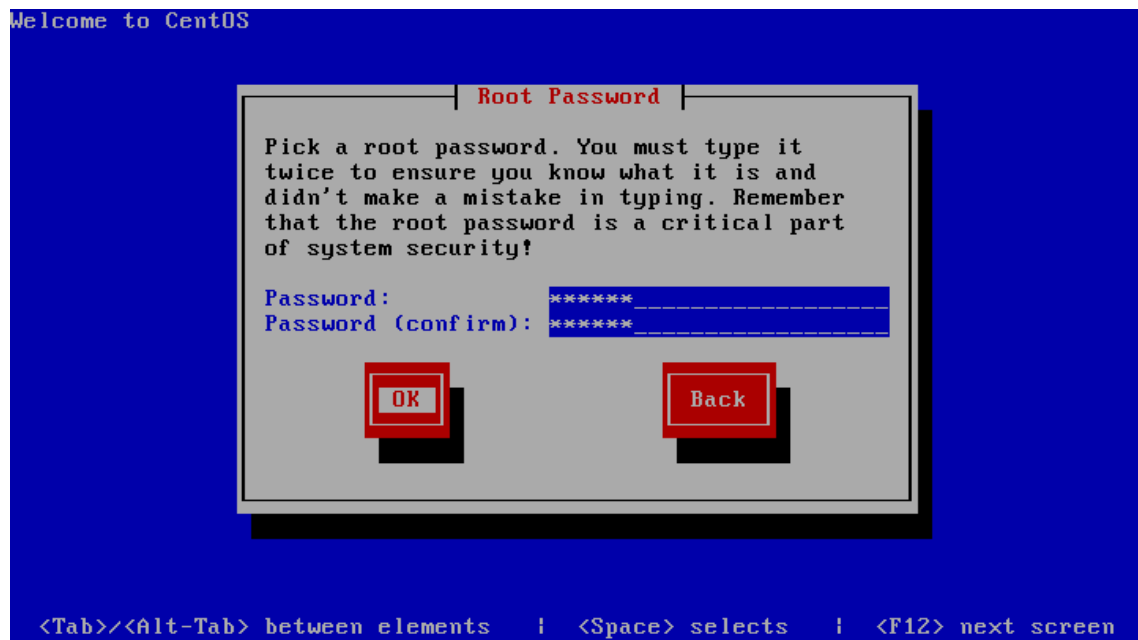
コンピュータのシステム日時の基準地域 (タイムゾーン) を指定します。

[ ] System clock uses UTC はチェックを外し、Asia/Tokyo 指定します。



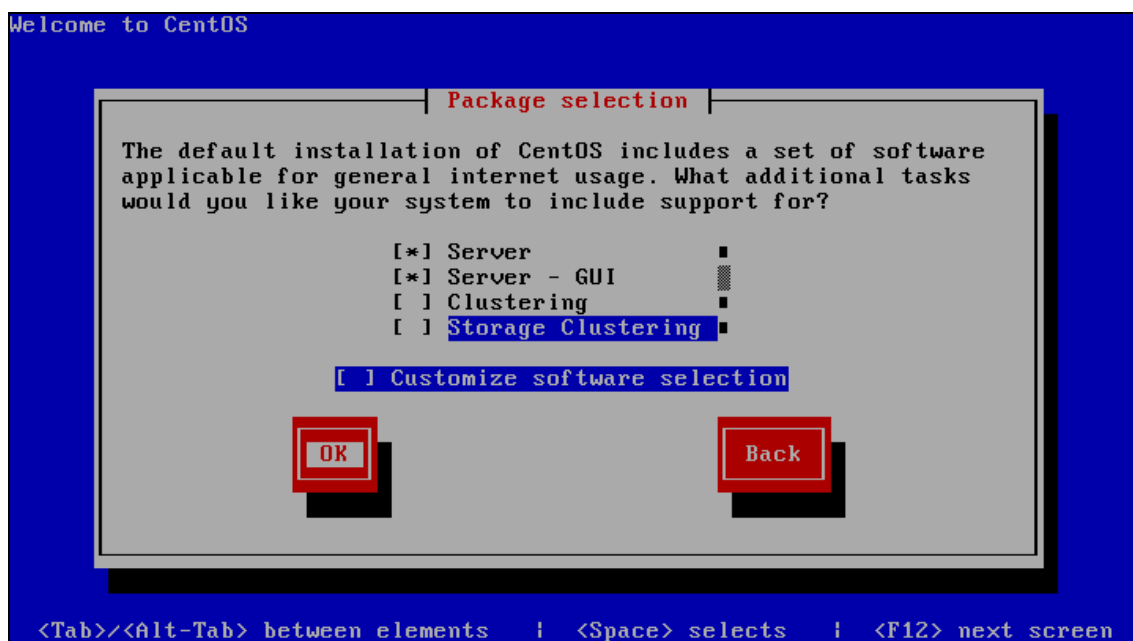
### 10.3.4 root パスワードの設定

root のパスワードを設定します。



### 10.3.5 パッケージの選定

導入するソフトウェア群を指定します。



必要なパッケージにチェックを入れ、[OK] を押します。

[\*] Desktop – Gnome

[ ] Desktop – KDE

[\*] Server

[ ] Server – GUI

[\*] Virtualization

[ ] Clustering

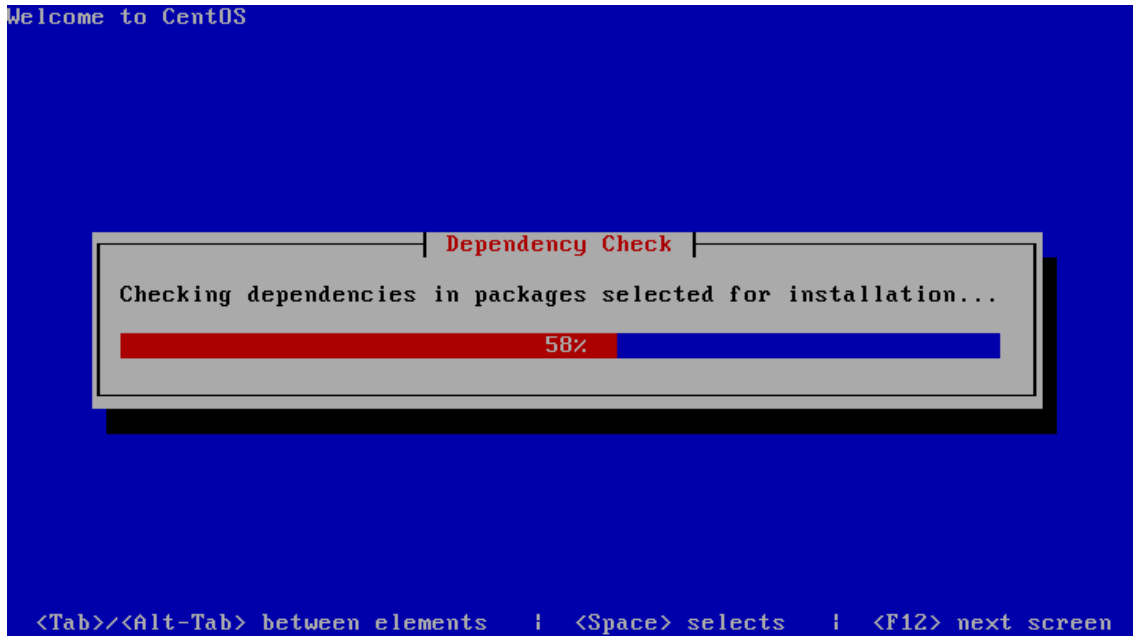
[ ] Storage Clustering

また、さらに絞り込むため [\*] Customize software selection にチェックを入れます。

以下選択されたパッケージのうち、[\*] はそのまま、[-]はチェックを外すものです。

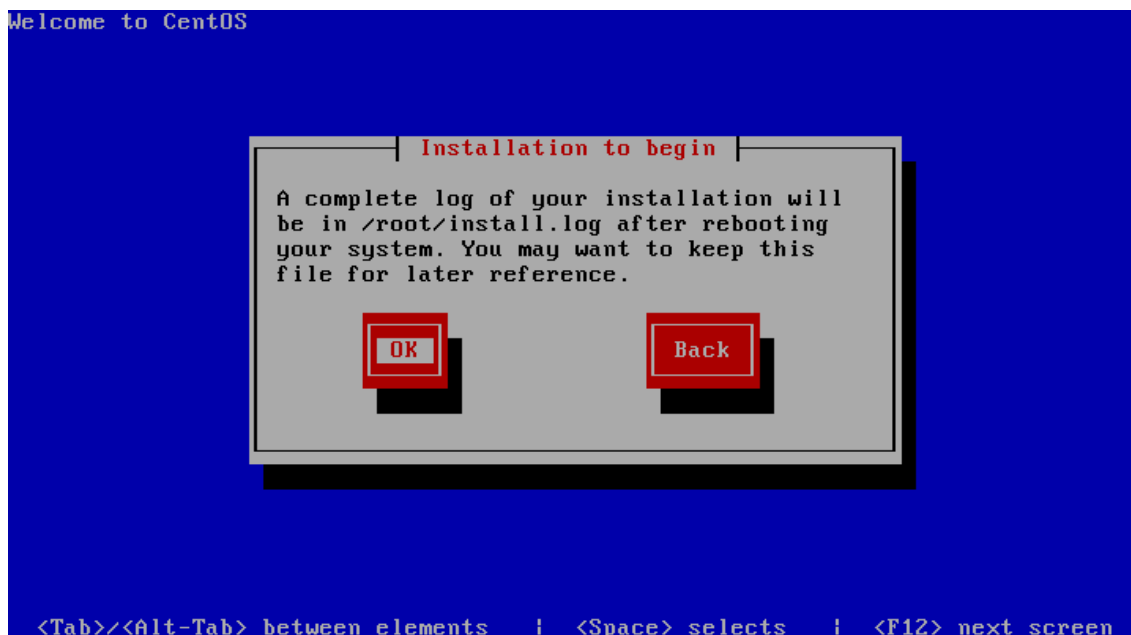
<input type="checkbox"/> Administration Tools	<input type="checkbox"/> Games and Entertainment	<input type="checkbox"/> Office/Productivity
<input type="checkbox"/> Authoring and Publishing	<input checked="" type="checkbox"/> Graphical Internet	<input type="checkbox"/> OpenFabrics Enterprise Distribution
<input checked="" type="checkbox"/> Base	<input type="checkbox"/> Graphics	<input type="checkbox"/> PostgreSQL Database
<input type="checkbox"/> Cluster Storage	<input type="checkbox"/> Java	<input type="checkbox"/> Printing Support
<input type="checkbox"/> Clustering	<input type="checkbox"/> Java Development	<input type="checkbox"/> Ruby
<input type="checkbox"/> DNS Name Server	<input type="checkbox"/> KDE	<input type="checkbox"/> Server Configuration Tools
<input type="checkbox"/> Development Libraries	<input type="checkbox"/> KDE Software Development	<input type="checkbox"/> Sound and video
<input type="checkbox"/> Development Tools	<input type="checkbox"/> KVM	<input type="checkbox"/> System tools
<input type="checkbox"/> Dialup Networking Support	<input type="checkbox"/> Legacy Network Server	<input type="checkbox"/> Text-based Internet
<input checked="" type="checkbox"/> Editors	<input type="checkbox"/> Legacy Software Development	<input checked="" type="checkbox"/> Virtualization
<input type="checkbox"/> Emacs	<input type="checkbox"/> Legacy Software Support	<input checked="" type="checkbox"/> Web Server
<input type="checkbox"/> Engineering and Scientific	<input type="checkbox"/> Mail Server	<input type="checkbox"/> Windows File Server
<input type="checkbox"/> FTP Server	<input type="checkbox"/> MySQL Database	<input type="checkbox"/> X Software Development
<input checked="" type="checkbox"/> GNOME Desktop Environment	<input type="checkbox"/> Network Servers	<input checked="" type="checkbox"/> X Window System
<input type="checkbox"/> GNOME Software Development	<input type="checkbox"/> News Server	

パッケージ選定が終わると、それぞれの依存関係チェックが行われます。

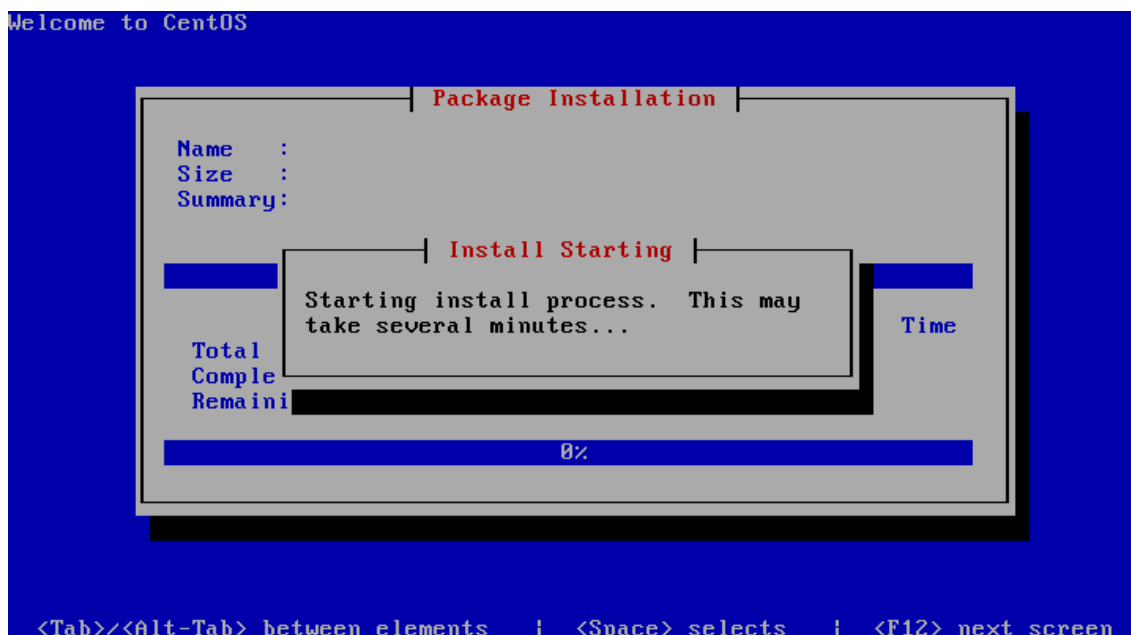


### 10.3.6 インストール開始

以上でインストールに必要な質問は全てです。内容に問題がなければ [OK] を押して先に進みます。



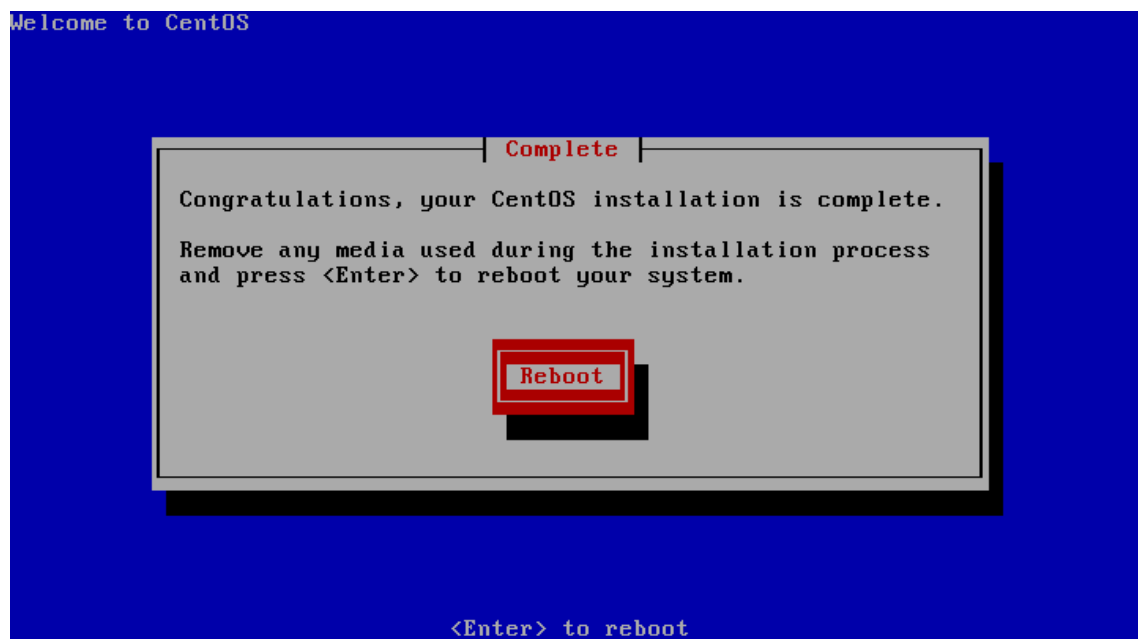
インストール状況が表示されます。



ハードウェアの性能に依存しますが、20分程度は操作することがありません。

## CentOS 5.5 - Xen のインストール (テキスト版)

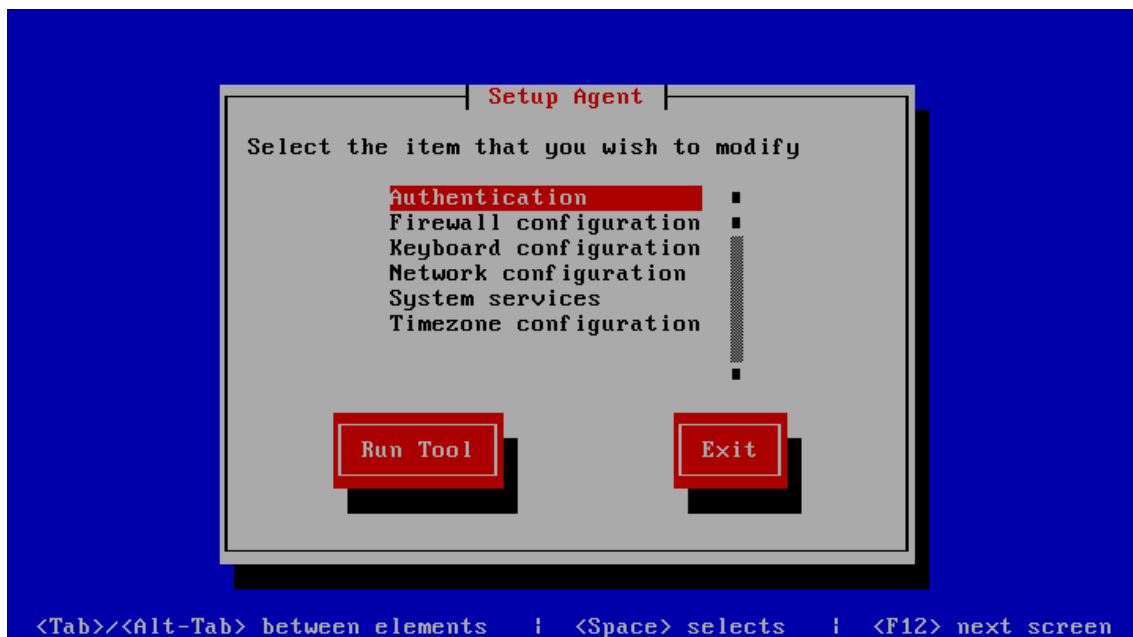
インストールが完了すると、再起動確認画面が表示されますのでインストールメディアをとりだし [Reboot] をクリックします。





## 10.4 インストール後設定

インストールが終了すると、再起動されインストール後設定に移行します。

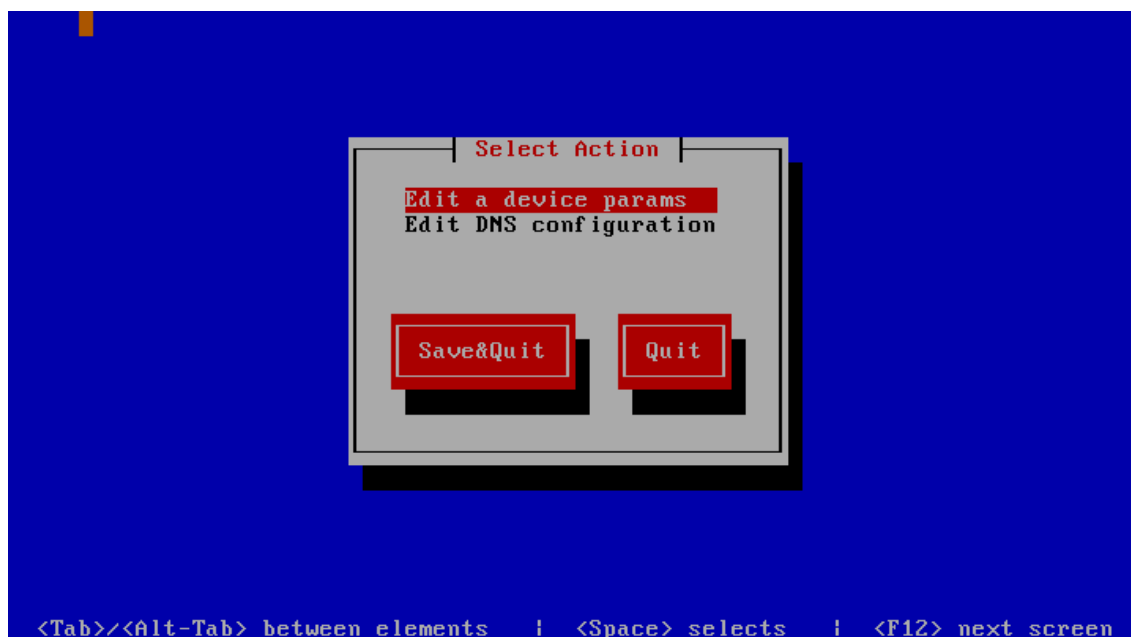


### 10.4.1 ファイアウォールの設定

ファイアウォールと SELinux を設定します。



Security Level は (\*) Disabled (無効) を選択します。同様に SELinux も Disabled を選択して、[OK]を押してください。



[ Save&Quit ]を押します。